

I 経済観光文化局の基本方針

経済・観光・文化を一体的に振興することで「都市の成長」を実現し、『人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市・福岡』を目指す。

II 施策の方向性と目指す姿

経済・観光・文化施策を**一体的かつ着実に**推進する。



III 令和5年度の主な取組み

1 中小企業振興施策の総合的かつ計画的な推進

(1) 中小企業の経営基盤の強化と持続的発展の促進

① 経営相談・助言及び資金供給の円滑化

- 中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化を図るため、十分な融資枠を確保するとともに、厳しい経営環境を踏まえた融資制度の円滑な運用や、経営・金融等の課題に対する相談対応等により、事業者の経営の安定と持続的発展に向けた取組みを支援する。

② 販路拡大及び生産性向上の促進

- デジタル化の必要性や成功事例等をテーマとしたセミナーやITツール導入に向けた伴走型支援を実施し、中小企業のデジタル化を支援する。
- 中小企業の脱炭素化を促進するため、脱炭素の取組みが経営に与えるメリット等をテーマとしたセミナーや、脱炭素経営の実現に向けた支援に取り組む。

③ 人材確保・就労の支援

- 経営セミナーやITスキル講座を実施し、生産性の向上を担う人材育成を支援する。
- 各区就労相談窓口での個別相談や求人開拓、職業紹介を行うとともに、採用ノウハウ向上に関するセミナーや、大学や経済団体等と連携したオンライン合同会社説明会を開催することにより、地場企業の人材確保と求職者の就労を支援する。

④ 商店街の振興

- 商店街を担う人材を育成し、課題解決に向けたチャレンジを支援するほか、商店街が中心となり、自主的に取り組む集客力向上等のためのソフト事業全般を支援する。
- 商店街の観光資源化や周辺の観光施設との連携等の取組み等を支援することにより、商店街の賑わい創出や魅力向上を図る。

⑤ 伝統産業・技能の振興

- 博多織や博多人形などの伝統工芸品を「はかた伝統工芸館」においてPRするほか、異分野・異業種等の技術を取り入れた新しい製品・サービスの開発を実施し、認知度向上を図るとともに、販路の拡大や後継者の育成の取組みを支援する。
- 小学生を対象としたものづくり体験講座や、博多マイスターによる地域での技能伝承により、技能職の認知度の向上や後継者発掘に努め、技能の振興を図る。

(2) 多様で活力ある成長発展の促進

① 創業及び第二創業並びに経営の革新

- スタートアップ支援施設及びスタートアップカフェを相互連携して運営することにより、創業の裾野の拡大を図り、スタートアップ企業のグローバル化、スケールアップ等の高みを目指した更なる成長や既存中小企業の第二創業を促進する。
- 国家戦略特区における規制改革に、福岡市独自の施策をあわせ、創業支援に取り組む。

② 研究開発、技術革新及び新サービス創出の促進

- エンジニアカフェを中心に国内外の優秀なエンジニアが集まる環境を創出し、エンジニアによって生み出される新サービスを通じて経済成長や市民生活向上を図るため、「エンジニアフレンドリーシティ福岡」の取組みを推進する。
- 大学や研究機関の集積による豊富な人材と技術を活かし、産学連携交流センターを含む九大新町において、九州大学と連携した研究開発拠点の機能強化を図るとともに、先端科学技術分野の振興や企業のDX促進、グリーンイノベーションの推進に取り組む。
- 下水バイオガスターションの運営や新たなFCモビリティの導入、まちづくりへの水素実装など、「水素リーダー都市プロジェクト」の取組みを推進する。

③ 海外市場へのビジネス展開の促進

- 食関連・ヘルスケア関連産業等を中心に、オンラインも活用しながら、地場中小企業の海外販路拡大や外国企業とのビジネス連携促進を図るとともに、アジア経済交流センターにおいて、地場中小企業の貿易実務やグローバル人材育成等を支援する。
- 姉妹都市との交流や国際貢献の取組みを通して築いた関係を活かし、企業の販路拡大や新たなビジネス創出につながる取組みを進める。

④ クリエイティブ関連産業の振興とにぎわいの創出

- ゲームや音楽、映像などクリエイティブ関連産業において、ビジネス拡大や人材育成等を支援し、クリエイティブ・フェスタの開催、福岡フィルムコミッションの活動等とあわせて「クリエイティブ・エンターテインメント都市・ふくおか」の都市ブランド形成に取り組む。
- 「博多祇園山笠」や、「博多松囃子」をはじめ、福岡・博多を代表するまつりの魅力を発信するとともに、屋台について、観光資源としての効用をさらに発揮していけるよう、魅力向上に取り組む。

⑤ 企業立地及び産業集積の促進

- 立地交付金制度や地方拠点強化税制を活用し、本社機能や情報関連産業などのクリエイティブ産業をはじめ成長性が高い分野の企業誘致を推進する。
- 外国企業に対する情報発信や福岡進出サポートを行うとともに、海外向けのシティセールス、外国経済団体・諸都市との連携などにより、外国企業の誘致を進める。

⑥ 国際金融機能の誘致

- 産学官が一体となった推進組織「TEAM FUKUOKA」の一員として、外資系金融機関を対象としたプロモーション、ワンストップサポート窓口の運営や地場企業と海外投資家のマッチング事業等を実施し、国際金融機能の強化に取り組む。

(3) 観光・MICEの振興

① 九州のゲートウェイ都市機能強化

- グローバル都市としてのゲートウェイ機能を高めるため、MICE施設の機能強化のほか、来訪者の利便性向上、回遊の円滑化等による都市機能の強化に取り組む。
- 付加価値の高い観光コンテンツの開発や、九州の自治体等と連携した観光プロモーション等を通して、福岡市への幅広い誘客と九州周遊観光を促進する。

② MICE都市としてのプレゼンス向上

- 「世界水泳選手権福岡大会・世界マスターズ水泳選手権九州大会」の開催に向けて、おもてなしや受入環境の充実に取り組むとともに、質の高いMICEに対する誘致活動や開催支援等に取り組む、都市としてのプレゼンス向上を図る。

③ 地域や市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進

- 自然や歴史、伝統文化など、これまで受け継がれてきた地域資源を観光資源に磨き上げ、博多旧市街や福岡城・鴻臚館におけるコンテンツの創出や受入環境の整備、海辺を活かしたサステナブルな観光振興等に取り組む、来訪者の満足度を高めつつ、市民生活の向上を図る持続可能な観光を推進する。

2 文化芸術の振興と文化財の保存・活用

① 文化芸術の振興

- 文化芸術を活かしたまちのにぎわいの創出や活性化、市民の文化芸術の鑑賞・体験機会や文化芸術活動者の育成・支援の充実を図るため、市民が身近にアートに触れる暮らしの推進やアーティストの成長支援を行う「Fukuoka Art Next」や、美術館等を拠点とした文化及び観光の振興等に取り組む。
- 文化施設の適切な管理運営等を行うとともに、拠点文化施設の整備に向けた取組みを進める。

② 美術館・博物館の魅力及び機能の充実

- 美術館、アジア美術館、博物館において、所蔵品の充実や魅力ある展覧会を開催するとともに、子どもたちがアートや歴史文化に触れる機会の提供や、市内の大学、民間のミュージアムとの連携企画の実施、ミュージアム機能の充実等の取組みを進める。
- 博物館において、リニューアルに向けた検討を進める。

③ 文化財の保存・活用

- 歴史資源や文化財を適正に保存・継承するとともに、市民や観光客等への積極的な魅力発信に取り組む。
- 観光・にぎわいの拠点として、鴻臚館・福岡城・箱崎地区の元寇防塁等の史跡の整備推進や歴史的建造物でのユニークベンチャー等の、多様な活用に向けた支援に取り組む。

3 ポートレース事業の推進

- SGポートレースメモリアルなど年間192日のレースを開催するとともに、他場開催レースの発売を場内及び外向発売所で行い、約932億円の売上を確保し、40億円を一般会計に繰り出す。
- ポートレース場の施設を有効活用し、多くの市民の方々に楽しんでいただける場の提供と新規顧客の獲得を図っていくため、ポートレースパーク化の検討を進める。

